

4/2-3 Hirado City Photo News
14年間の感謝の気持ちを込めて最後の木ヶ津千灯籠春まつり



木ヶ津町一帯で「第14回木ヶ津千灯籠春まつり」が開催されました。今年で、14回目となり、普門寺境内に約100基の石灯籠と3千本の竹筒に灯りをともし、夜桜を楽しみました。しかし、準備に当たる地元住民の高齢化や人員不足により、今年で最後となりました。まつりでは、松口ようこさんのコンサートなども披露され、訪れた人たちも早春の宴の雰囲気を楽しんでいました。

また、同町にある慈眼桜もライトアップされ、地元住民や観光客も暗夜に浮かびあがる幻想的な夜桜を楽しんでいました。

3/3-14 Hirado City Photo News
視野を広げよう（ノールトワイケルハウト市姉妹都市交流事業）



この事業は、オランダ王国ノールトワイケルハウト市（以下NWH市）と姉妹都市締結を機に、平成24年度から実施され、高校生を相互派遣し、子どもたちの国際的な視野を広げることを目的に行われ、今回で4回目となります。市内の高校生12人が訪問し、NWH市の高校生宅へホームステイし、その家族と共に生活することで、学校で学ぶ事ができない文化や習慣などを体験しました。期間中の会話は、お互いに英語で、最初は苦労もありましたが、徐々に意思疎通ができるようになり、英語力およびコミュニケーション力が向上しました。

4/16 Hirado City Photo News
消防団活動がしやすいように



平戸市消防本部で、「平戸市消防団協力事業所表示証交付式」が開催されました。

これは、消防団員を2人以上雇用し、消防団の活動に積極的に協力している事業所に、「平戸市消防団協力事業所表示証」の交付が行われるもので、今回は、生月町の増山建設株式会社が交付を受けました。

平成28年4月現在、13事業所が認定されていて、地域の消防防災力の充実強化など、一層の推進を図ることを目的に、今後も、多くの消防団協力事業所を募集します。

4/14 Hirado City Photo News
防火・防災の意識啓発に貢献



田平町深月少年消防クラブが、昭和49年の発足時から毎月実施している夜警などの活動実績が認められ、平成27年度優良少年消防クラブとして消防庁長官賞を受賞されました。同地区では、平成元年6月の火災を最後に、今日まで27年間無火災を継続するなど、地域住民の防火意識の高揚につながっています。

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までで構成されており、平成27年5月1日現在、全国で4,493のクラブが活動しています。

4/13 Hirado City Photo News
国際的な視点を平戸に



本年度採用された中国・浙江省出身の国際交流員(CIR)、董海燕さんと、オーストラリア・シドニー出身の外国語指導助手(ALT) ジェームス・グラハムさんに辞令の交付が行われました。

董さんは、大阪に留学経験があり、日本語が堪能で、主に外国人向けの観光情報の発信や、国際交流事業の業務を行ないます。

ジェームスさんは、シドニーの大学で日本語を学び、剣道の経験もあるなど、積極的に日本の文化を学んでいます。主に、市内の小中学校で英語を教えます。

3/26 Hirado City Photo News
県内自治体では初の協定締結



県内唯一のプロサッカークラブV・ファーレン長崎と平戸市がスポーツ振興並びに地域活性化を目指して、県内の自治体では初めての「フレンドリータウン協定」を締結しました。

今後、市ではクラブの資源を活用して、青少年のスポーツ振興や地域活性化に向けた取り組みを考えています。一方、V・ファーレン長崎では、県北地区の拠点として平戸市と連携することで県内全域の活動を展開したいとのことで、ホームゲーム観戦などの平戸市応援デーや幼児サッカー教室など、継続的な取り組みを行っていきます。